



清水けんいち 市政レポート

政策討議資料
第31号
2015年7月

【ご挨拶】

皆様のご支援により、市議会議員3期目をお預かりすることができました。心から感謝御礼申し上げます。

4月に施行されました選挙におきまして、大きな信任をいただき、引き続き市議会議員として活動を始めました。皆様の期待に応えるため、より一層精進して参ります。議員活動を市民皆様に御報告する事で、少しでも開かれた政治にしていきたい。皆様と力を合わせて「住みやすく・暮らしやすく・子育てしやすい街」深谷を実現していきたい！そんな思いで、「市政レポート」を発行して参ります。

この市政レポートは私の分身です。毎号ファイルに綴って読んでもらっている子は幸せ者で、そのままポイされている子は涙を流しているかもしれません。

皆さんにお願いです。どうぞ、この子を可愛がってあげて下さい。

【議会報告】

深谷市議会 平成27年度第2回定例会6月議会が終了しました。

主な議案

- ・平成27年度一般会計補正予算〈第2号〉（可決）
 - ・地区計画内区域内における建築物の制限に関する条例（可決）
 - ・産業会館条例を廃止する条例（可決）
 - ・高品質堆肥製造施設条例を廃止する条例（可決）
- （他、市長提出議案4件・議員提出議案1件）

産業会館条例を廃止にする経緯

産業会館は今から48年前、昭和42年に建てられた鉄筋コンクリート造3階建ての建物で、1階は深谷商工会議所が利用し、2階は保険会社や青年会議所が事務所として利用、市産業振興部並びに農業委員会も入り、その他の部屋は一般に貸し出されておりましたが、平成23年度に実施された耐震診断の結果、耐震指標であるI S値（※）が0.03と大地震の際、最も危険な建物であるということが判明しました。それから4年が経過した本年2月28日を以って、一般への貸出しを中止し、商工会議所などの新たな入居先が見つかるまでの間、貸し続けてきましたが、商工会議所の新たな入居先を深谷コミュニティセンター（以下、コミセン）にすることで調整を始め、先が見えたことから、今回の産業会館条例の廃止に至ったとの説明です。



産業会館（来年度、解体予定）

参考1【耐震性の判定】

Is値0.3未満	大地震の振動及び衝撃に対して倒壊又は崩壊する危険性が高い
Is値0.3以上0.6未満	大地震の振動及び衝撃に対して倒壊又は崩壊する危険性がある
Is値0.6以上	大地震の振動及び衝撃に対して倒壊又は崩壊する危険性が低い
*一般的には、震度6強から7程度の規模の大地震発生時に安全であると考えられているレベルがIs値0.6	

清水の私見



何故、もっと早く貸館業務を止めなかったのか不思議でなりません。大地震の際に倒壊の恐れがある施設を市民に貸し出すというのは理解できません。また、産業会



深谷コミュニティセンター

にして、深谷保健センターに統合するというのは、行き当たりばったりで計画性に乏しく、市民の混乱を招くばかりではないでしょうか。

※花園保健センターでは、川本・花園地区皆様の各種検診や乳幼児健診、4ヶ月健診などが行われています。

館を廃止にするので、コミセンの一部を商工会議所に貸し出し、歯科医師会から要請のある在宅歯科医療の拠点を深谷保健センターに併設する、というのは、まだ分かりますが、昨年度、大規模修繕工事を行ったばかりで、廃止後の利用方法が決まっていない「花園保健センター」を廃止



花園保健センター

清水の提言



平成25年4月時点で、深谷市の公共施設数（建物）は、小中学校や市営住宅など183施設、その約40%が築30年以上経過しており、今後、大規模改修や建替えなどの更新が見込まれます。仮に同じ床面積で更新した場合の経費は、40年間で約1525億円となり、年平均、約38億円が必要となります。少子高齢化問題や厳しい財政状況を踏まえ、早急に「公共施設の適正配置計画」並びに「公共施設の有効活用計画」を策定し、市民皆様の理解を得ながら、施設の統廃合や民間への売却などを進めて行くべきと提言して参ります。

【対象とした「公共施設」の分類及び主な施設】

分類	施設数	延床面積（㎡）	主な施設
市民文化系施設	19	34,263.03	コミュニティセンター(3)、公民館(12)、文化会館(2)
社会教育系施設	5	3,673.67	図書館(4)、渋沢栄一記念館
保健福祉系施設	15	11,792.29	老人福祉センター(4)、保健センター(4)、障害福祉施設(2)
スポーツ・レクリエーション系施設	30	28,089.39	総合体育館、市民体育館、農業者トレーニングセンター(2)、パティオ
産業系施設	11	8,517.09	産業会館、多目的センター、農民センター、ふるさと物産センター、物産館
子育て支援施設	26	9,204.98	保育園(7)、学童保育室(19)
学校教育系施設	44	182,642.59	幼稚園(12)、小学校(19)、中学校(10)、給食センター(2)
行政系施設	16	24,166.61	本庁舎、総合支所、別館、教育庁舎、消防本部、消防署(2)、分署(5)
市営住宅	11	30,764.14	市営住宅(11)
その他施設	6	14,341.40	深丘園、衛生センター
合計	183	347,455.19	

6月15日 清水健一の 一般質問と答弁(要約)



「誠は天の道なり
之を誠にするは 人の道なり」
(古典：中庸)

天の道は真実であり、うそ偽りの無いものである。人も生まれつき誠を持っているが、我が身の欲に曇らされ、誠を保つことができない。それ故、人は努めて本来の誠の道を求めなくてはならない。という教えであり、洪沢栄一翁は、この教えにちなんで、77歳の喜寿のお祝いに、第一銀行行員皆様の出資により建築された、国の重要文化財、現在は深谷に移築された施設であります「誠之堂」と命名されました。先人の教えを胸に刻んで、精進して参ります。

議席番号15番・清水健一、発言通告書に基づき質問に入ります。

質問1 “敬老事業の充実について”

我国は人類史上、例を見ない超高齢社会に突入しております。深谷市も例外ではなく、高齢化率は23.9%、そして10年後には30.3%になると予測されています。そのような中、行われている敬老会は、本年度から参加対象年齢が75歳以上となり、送迎などの問題で、低い参加率が更に下っていくのではと心配しております。現在は自治会支会ごとの12会場で行われておりますが、熊谷市(125ヶ所)のように細かい単位で行うなど、開催方法を含めて検討すべきと思いますが、考えを聞かせて下さい。

答弁 開催方法につきましては、自治会連合会や各地の老人会、民生児童委員や社会福祉協議会など、ご協力いただいている関係者の皆様と反省会を通じ、話し合っていきたいと思っております。

質問2 “高齢者の社会参加促進について”

市内高齢者の社会参加状況は、例えば老人会加入者数は4年間で約2,000名減となっており、シルバー人材センター登録者数も154名減となっております。対象者が急激に増えているにも関わらず、参加者が減っている状況を踏まえ、高齢者の社会参加促進について、市の見解をお聞かせ下さい。

答弁 就労意欲がある高齢者に対しては、就労機会の提供・開拓や雇用に関する相談・広報の充実に努め、シルバー人材センターの活用を促したいと考えております。また、高齢者の孤立化の防止や健康増進のため、老人会、いきいきサロンといった高齢者対象の活動団体や事業の周知を図ると共に、支援を行って参ります。

質問3 “高齢者の福祉サービスについて”

高齢者福祉サービスに関しては、毎年、見直しが行われ、現在は主に18の事業が行われておりますが、例えば「敬老会開催事業」では、対象年齢が75歳以上、老人会加入対象年齢は60歳以上、交通安全・杖の支給事業では70歳以上、緊急通報装置設置事業にいたっては、概ね65歳以上と、対象年齢がバラバラで分かりづらいとの声を聞く機会が多くありますが、見解を伺います。

答弁 国や県の要綱・指針に合わせたもの、また、市単独事業でも対象年齢の基準に裁量を加え、より実情に合わせたサービスを提供できるようにしております。今後は、高齢者の方々が今まで以上にサービスを利用しやすくなるよう、必要に応じて見直しを検討して参ります。

清水の私見



そもそも、市は超高齢社会突入を再認識するべきだと思います。老人とは何歳からという定義はあいまいで、高齢者とかシルバー或いはシニアという呼び方に疑問を持つべきと考えます。民間ではT S U T A Y A(蔦屋)が、65歳以上の方をプレミアエイジ(世代)と名付けて販売戦略を立て成功しております。また、深谷市にも出店したホリデイスポーツは、50歳から64歳までの方をプラチナエイジ(世代)と名付けて高評価を受けております。自治体でも、そうした動きが見られ、広島県ではプラチナ世代支援事業を開始いたしました。元気な高齢者が増えた、今の時代にあったネーミングと政策が必要であると提言して参ります。

花園IC拠点整備プロジェクトに関する報告

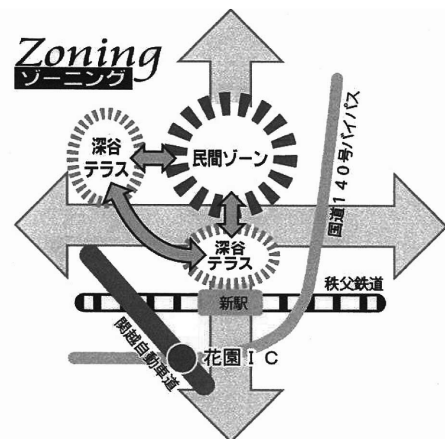
アウトレットモールに続く、公共ゾーンの概要が発表されました。
※公共ゾーンを深谷テラスと名付けました。

総事業面積28ヘクタールの内、民間ゾーン17ヘクタールは優先交渉者が三菱地所サイモンと決定し、日本最大のアウトレットモールが開設予定となっておりますが、この度、8ヘクタールの公共ゾーンの活用方法について説明がありました。

～深谷の情報発信基地、ここから始まる深谷の未来～

花園IC拠点整備プロジェクトは、民間ゾーンへアウトレットモールを核とする観光型集客施設を誘致し、その集客力を活用した「観光と農業の振興施策」を公共ゾーンに展開することにより、地域産業の発展に資することを目的とした複合開発事業です。

(市の資料抜粋)



深谷テラスの機能

- ①特産物の加工・販売機能
物産品を集めて販売するだけでなく、高付加価値化の取り組みを行う機能。
- ②レクリエーション機能
広々とした空間で特設市場や展示会などのイベントを楽しみ、安らぎと交流を生む機能。
- ③観光振興機能
秩父地域及び深谷市の観光資源を活用するための、観光情報発信機能。

尚、深谷テラスを整備運営する事業者を9月から10月に掛けて公募する予定となっております。

清水の貸し出しが始まりました！

「深谷市の〇〇が、どうなっているのか教えて欲しい」
「日ごろ市政について思っていることを訴えたい」
「じっさいの清水は、いったいどんな人なんだろう」
「レポートに書いてあったことについて議論したい」

そういう方は、実物の清水を、ご自宅でもカフェでも集会所でも、お呼び付け下さい。ご予約いただければ市内どこでも「清水の貸し出し」を行います。高齢者問題から教育問題、農業・商業・工業・観光といった相談も大歓迎です。

お申し込みはFAXまたはメールでお願いします。

FAX：048-584-0396 E-mail：info@shimizu-kenichi.jp

清水健一連絡先

〒369-1246 深谷市小前田2406-8
TEL 048-584-0717

FAX 048-584-0396

ホームページ：http://www.shimizu-kenichi.jp(ブログ公開中)

E-mail：info@shimizu-kenichi.jp



プロフィール

昭和36年1月27日生まれ(54才)
家族構成 父、妻、長男、長男妻、長女、次女、孫(8人家族)

- 埼玉県立熊谷工業高校 卒業
- 社団法人深谷青年会議所 第35代理事長
- 深谷市PTA連合会 会長
- 深谷市立花園小学校 PTA会長
- 深谷市立花園中学校 PTA会長
- 埼玉県立深谷高校 PTA会長
- ◎ ふかや市商工会 理事
- 深谷市議会 副議長

このレポートは旧花園地域には折込により全戸配布しており、他の地域の皆様には年2回郵送させていただきます。郵送希望の方を紹介していただければ郵送させていただきますのでFAXやメールでは是非、御紹介して下さい。